



(社)日本建築家協会 沖縄支部 幹事
金城 優 南門

サンフランチェスコ修道院

フィレンツェの町の北
小高い丘の上の建物。6
年前に初めて家族4人で
行ったイタリア旅行で、

特に思い出に残った場所
です。

そこは17
年前にイタ
リアのフク
サス事務所
に所属して
いた頃、フィ
レンツェに
留学した知
人に紹介さ
れた場所で
した。フィ
レンツェの
町が一望で
きる景色と、
中世の集落
が残ってい
る景観は、
家族で散策
してみたい
と思う場所
のひとつで
した。そこ
で最後に見
つけた建物が、今回紹介

中世の景観と心安らぐ空間

するとても美
しい小さな修
道院です。修
道院の名はサ
ンフランチェ
スコ修道院。
約1600年
前からある修
道院でレンガ
積み、2階建
て、屋根は木
造小屋組みに
なっており、
赤瓦が乗って
いるカワイイ



サンフランチェスコ修道院の外観

建物です。私たちが立入
りを許可して貰えたのは、
1階にある2層吹抜けの
修道僧の食事室で、床は
何年も年月の経ったレン
ガが敷き込まれ、壁は木
の腰壁と白い漆喰で仕上
げられ、天井は小屋組の
大梁が見える心地良い室
内空間で、時が経つのを
忘れてしまうぐらい心が
安らぐ空間でした。室内
の小さな細い階段を登る
と、とても狭い廊下の横
に2畳程の小さな修行室
が数室ありました。室内
には一個の椅子が置いて
あり、45センチ角程度
の小窓からは、太陽の光
が差し込んでいました。
室内に数分居ると、茶室

空間の「わび・さび」に
通じるような趣が感じら
れてきました。窓から見
える、回廊と片隅に井戸
のあるよく手入れのされ
たパティオも印象的でした。
1600年間この修
道院はこの町の人々と共
に歴史を刻み街のコミュ
ニケーションの場となり、
これからも愛され続けて
いくことでしょう。歴史
は直ぐに出来るものでは
ない事を肌で感じるこ
の出来た旅行となりました。
そして、今でも私た
ち家族にとって忘れるこ
との出来ない散策旅行に
なっています。今年はお
マに里帰り？なんてー！



窓から見えるパティオ